

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習 I	花田 経子	1 年次	春

授業のキーワード	読解、レポート作成、リテラシ
授業の概要	大学での研究において情報の適切な処理に必要なリテラシ能力は必須です。専門書の理解とレポート作成能力を高め、発表や議論を通じてコミュニケーション能力も身につけてください。また日本漢字能力検定(漢検)の合格を目指し、そのための学習もを行います。単に漢字を「読む」「書く」という知識だけではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力を養います。
期待される学習成果 (目標)	大学は学習から研究へと一歩踏み出した活動を行う場です。そのために必要な能力を身につけるのがこの演習の目的です。受け身ではなく積極的な態度で受講すること。自ら知ることの楽しさを実感してください。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション、アイスブレイキング	演習内容の説明、ゼミノートの使い方、自己紹介・議事録作成・質問の仕方	第 9 講	課題書輪読 (2)	グループに分かれた輪読を実施。
第 2 講	トークショー トレーニング	他者とトークショー形式の発表を通じて効果的なコミュニケーションをする方法を学ぶ	第 10 講	合同ゼミ	
第 3 講	合同ゼミ		第 11 講	課題書輪読 (3)	輪読の続き。
第 4 講	図書館・PC オリエンテーション	図書館と PC の使い方を学び課題に取り組む。	第 12 講	課題書輪読 (4)	課題書の内容をレポート形式にしてまとめ提出。(添削)
第 5 講	新聞社説読み比べ(1)	Web で新聞社説を検索し、読み比べを行う。	第 13 講	合同ゼミ	
第 6 講	合同ゼミ		第 14 講	課題書輪読 (5)	添削結果を元に修正したものを発表。
第 7 講	新聞社説読み比べ(2)	Web で新聞社説を検索し、読み比べを行う。	第 15 講	課題提出	レポート提出。
第 8 講	課題書輪読 (1)	専門書籍の読み方に関するオリエンテーションを実施。	定期試験		
評価方法	出席 30 点、課題の総合評価 70 点。なお卒業時まで「漢検」に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。評価方法の詳細は、初回の授業や「合同ゼミ」において説明します。ただし、すでに日本漢字能力検定 3 級以上を取得している人はこの限りではありません (要証明書)。				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
学校指定の漢検テキスト 芳賀繁、『事故がなくなる理由～安全対策の落とし穴～』、PHP 新書					